

SIT+KU+AIT+SUT+NUCE gPBL: withコロナ・afterコロナの世界における土木技術者の果たすべき役割に関するワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2021年08月23日 ~2021年08月31日	日本	カセサート大学 アジア工科大学 スラナリー工科大学 ハノイ土木大	<ul style="list-style-type: none"> 土木工学科 社会基礎学専攻 学部1年生 学部2年生 学部3年生 学部4年生 修士1年生 修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生40名、TA8名、教員1名、職員1名 (中央大学) 学生1名 (カセサート大学) 学生29名、教員3名、職員8名 (アジア工科大学) 学生15名、教員1名、職員1名 (スラナリー工科大学) 学生20名、教員1名 (ハノイ土木大) 学生8名	稲積 真哉(土木工学科)



図1 オープニングセレモニー

Zoomによるオンラインにおいて、“Roles of civil engineers during/after the COVID-19 pandemics (withコロナ・afterコロナの世界における土木技術者の果たすべき役割)”をテーマとしたグローバルPBLを実施した。当該グローバルPBLでは、本学(SIT)から土木工学科を中心に49名、カセサート大学から29名、アジア工科大学から15名、スラナリー工科大学から6名の計119の土木系学生が参加した。そして、当該グローバルPBL期間中は、各日午前における特別講演などの全体イベントに加え、各日午後には10グループに分かれた各グループで活動を行った。グループ活動では、テーマである“Roles of civil engineers during/after the COVID-19 pandemics (withコロナ・afterコロナの世界における土木技術者の果たすべき役割)”を各グループ内で共有・議論した。その成果を披露するために開催された最終発表会では、学生らしい斬新な発想が随所に盛り込まれた発表内容が多く、全ての参加者は土木工学のニューノーマルを創造することができた。全体イベントでは、タイでも日本でも有名な地盤工学者であるProf. Dr. Suttisak Soralump (Kasetsart University)から特別講演をいただいた。また、大林組技術研究所のご厚意によりオンライン技術研究所見学会も催された。

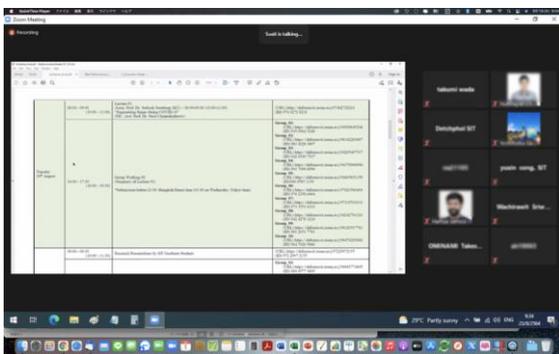


図2 スケジュール紹介

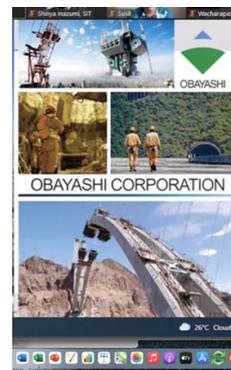


図3 オンライン見学(大林組技術研究所)



図4 特別講演(Dr.Suttisak)



図5 ファイナルプレゼンテーション